

## \*子どもの本棚\*

子どもたちに勧めたい本をご紹介します。  
本選びの参考になさってください。

### 『マシューのゆめ えかきになったねずみのおはなし』

作：レオ＝レオニ 訳：谷川 俊太郎 出版社：好学社

ねずみの子ども、マシューは、ほこりだらけの屋根裏の一隅にお父さんとお母さんと住んでいました。マシューたちはとても貧しい暮らしをしていました。お父さんとお母さんはマシューに大きな望みをかけていて、お医者さまになってほしいと願っています。けれども、マシューに将来何になりたいかと聞いても、「わかんない…ぼく、世界っていうものを見たいんだ」と言うだけでちゃんと答えることができません。ある日、マシューは学校のクラスメイトと、生まれてはじめて美術館に連れて行かれたのです。美術館には、ねずみの王様の肖像画、翼を持った空飛ぶねずみ、しぶきをあげる川、風にゆれる木の枝、たくさんのすてきな絵が展示されていました。「そこにはびっくりするような世界がある」とマシューは感動し、夢中になって絵を見て歩き回りました。絵に魅せられたマシューは絵描きになることを決意するのです。それから、マシューは、大きなキャンバスに楽しい色と形でいっぱい絵を描き、一生懸命仕事をしました。やがて、絵描きとして有名になり、世界中からねずみ達がマシューの絵を見にやってきました。

自分の夢を見つけること、そして自分の生きがいや本当に好きなこと…これらをしっかりとって

生きることは大変難しいことではないでしょうか？それを探しながら、時には見失いながら、けれどもやはりそこに行き着いて…人はまた何かを学びます。また、どんなきっかけで夢が見つかるかも分かりません。マシューは美術館に連れて行かれたおかげで、自分が本当にしたいことを発見し、生まれながらに持っていた才能を伸ばすことができました。大切なことは、勇気と夢を持ってやり遂げることだということに気付かされる絵本です。その上、そういう気持ちを持つことはとてもすてきなことだと感じる事ができるでしょう。「夢」について考えてみるきっかけになるストーリーです。また、大人の方も、モヤモヤした気分の時に開きたくなる絵本です。

作者、レオ・レオニの作品は、いずれも「名作」といわれる絵本ばかりで、その中でも『マシューのゆめ』は、人気の高い1冊です。



6・7歳ぐらいから

## Peek a Boo

### ～あかちゃんとおかあさんの絵本の時間～

5月15日(火) 10:30～11:00 ☆毎月第3火曜日☆

乳幼児と保護者を対象に、1F絵本コーナーで手遊びや読みきかせをしています。どなたでもお気軽においでください。

### \*くつしたのあな\* ～おはなし会を開いています～

5月19日(土) 14:30～15:00

5、6歳から小学生のみなさんのためのおはなし会です。ストーリーテリングや絵本の読みきかせをしています。是非、遊びにきてください。

開館時間	本館	9:30～18:00
	枝川分室	
休館日	本館	毎週月曜日・祝日 館内整理日(31日木曜日)
	枝川分室	月・水・金・日・祝日
電話番号	本館	☎ 850-4360
	枝川分室	☎ 850-4350

<http://inolib.town.ino.kochi.jp>

## 5月の展示

- ・石井桃子さん100年記念展
- ・かこさとしさんのあそびの世界
- ・日野原重明さんの「いのち」と「心」